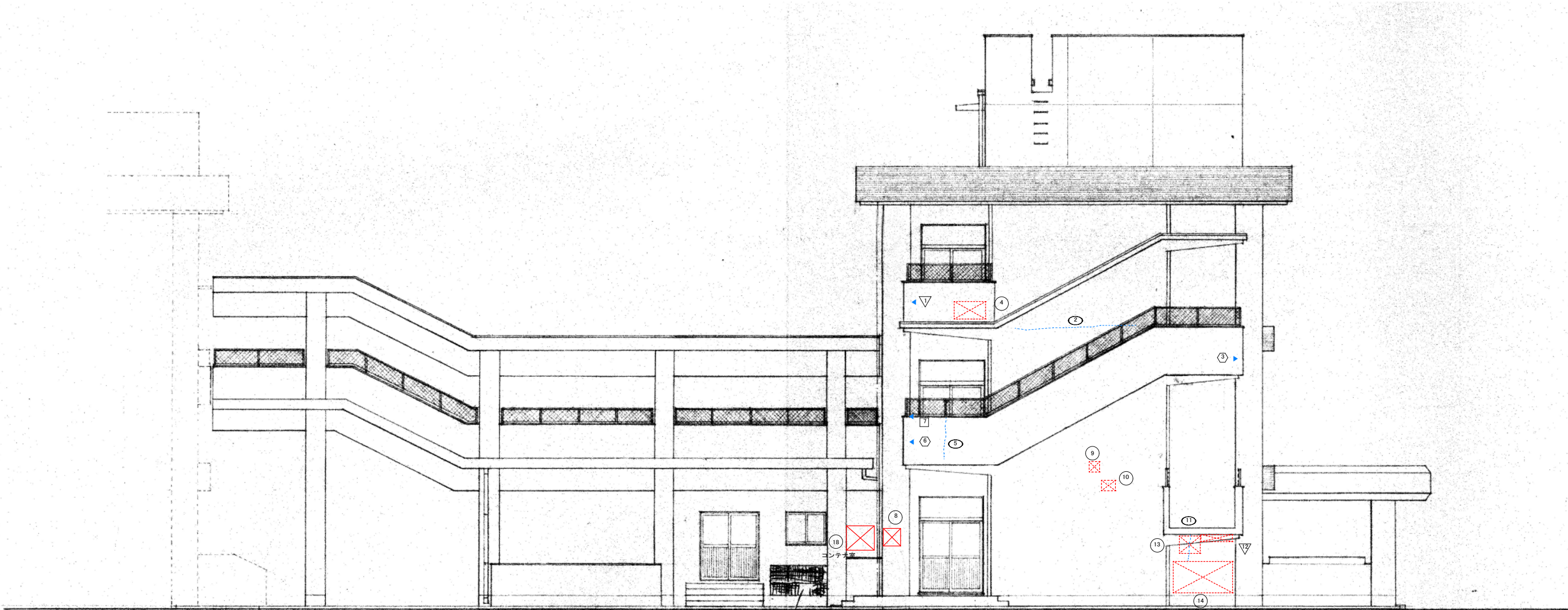


凡例

	補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	斜線
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m ² (一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m ² (指定部)	△	斜線
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/m ² (狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	斜線

注) ▲:見え隠れ部の位置を示す

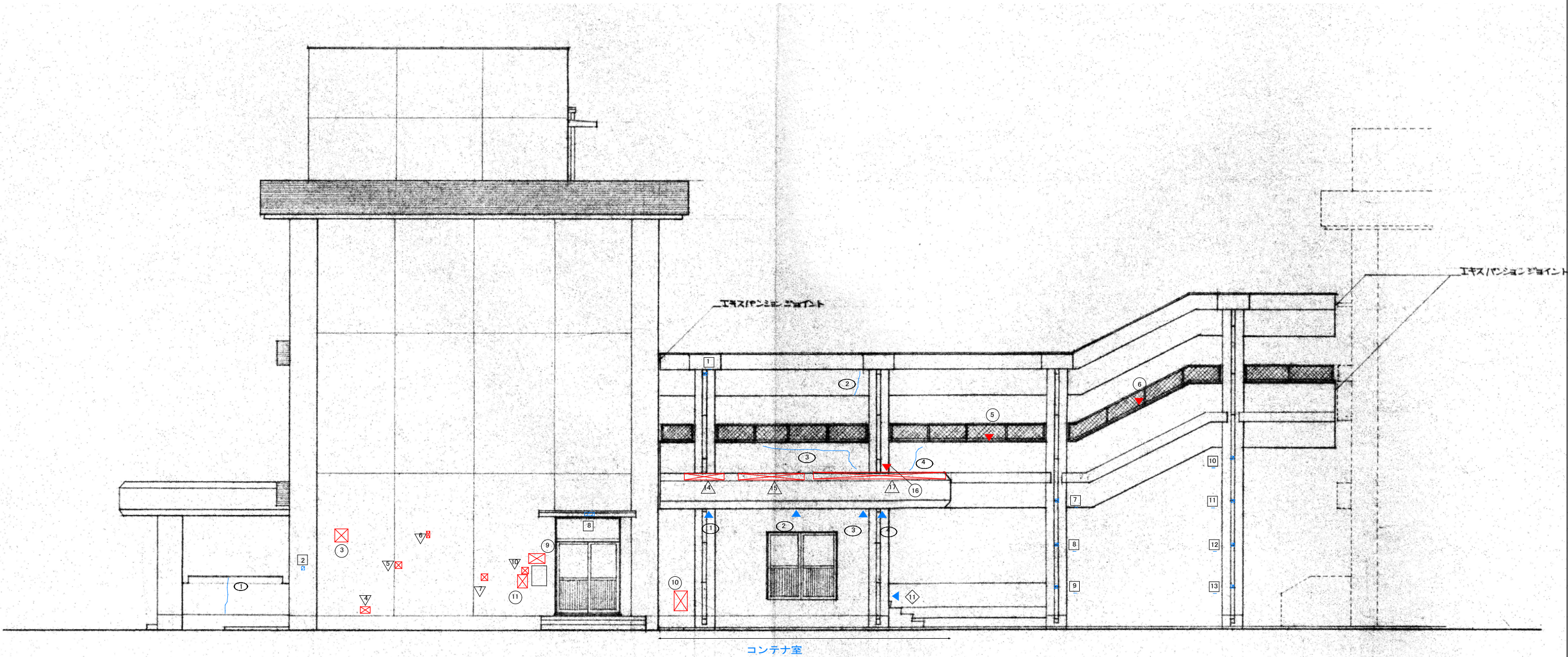


西側立面図 1:100

小野 孝輔

凡例		補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法		□	▨
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法		◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)		○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)		△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)		▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm		○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超		○	—

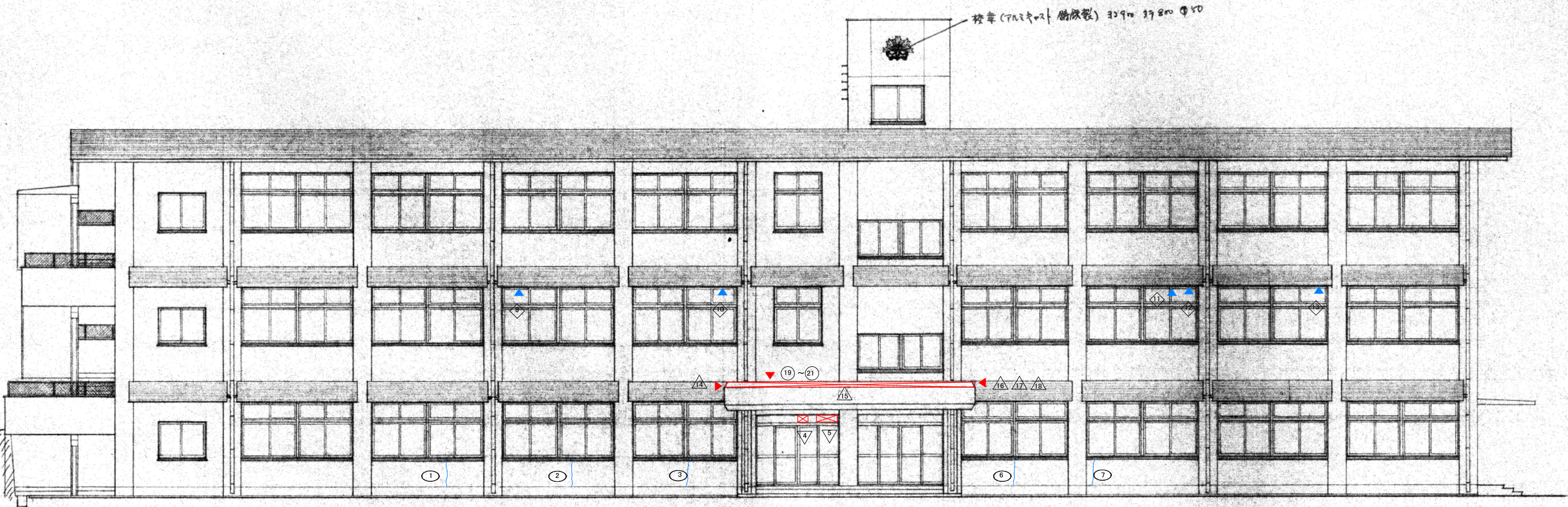
注) ▲:見え隠れ部の位置を示す



東側立面図 1:100

凡例		補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法		□	▨
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法		◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)		○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)		△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)		▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm		○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超		○	—

注) ▲:見え隠れ部の位置を示す

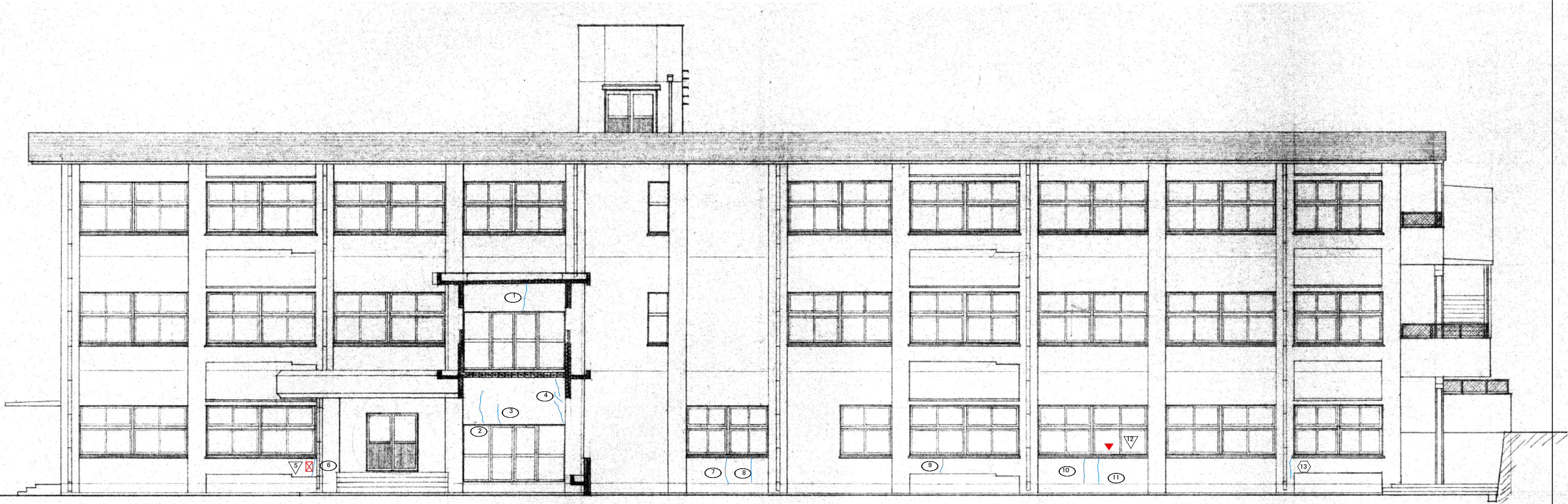


南側立面図 1:100

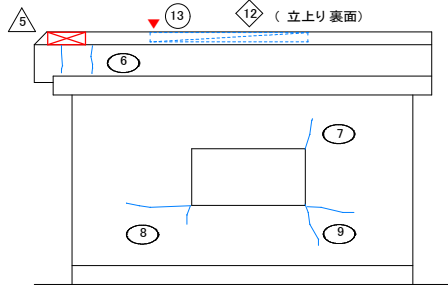
凡例

	補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	斜線
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	斜線
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m ² (一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m ² (指定部)	△	斜線
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/m ² (狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	斜線

注) ▲: 見え隠れ部の位置を示す



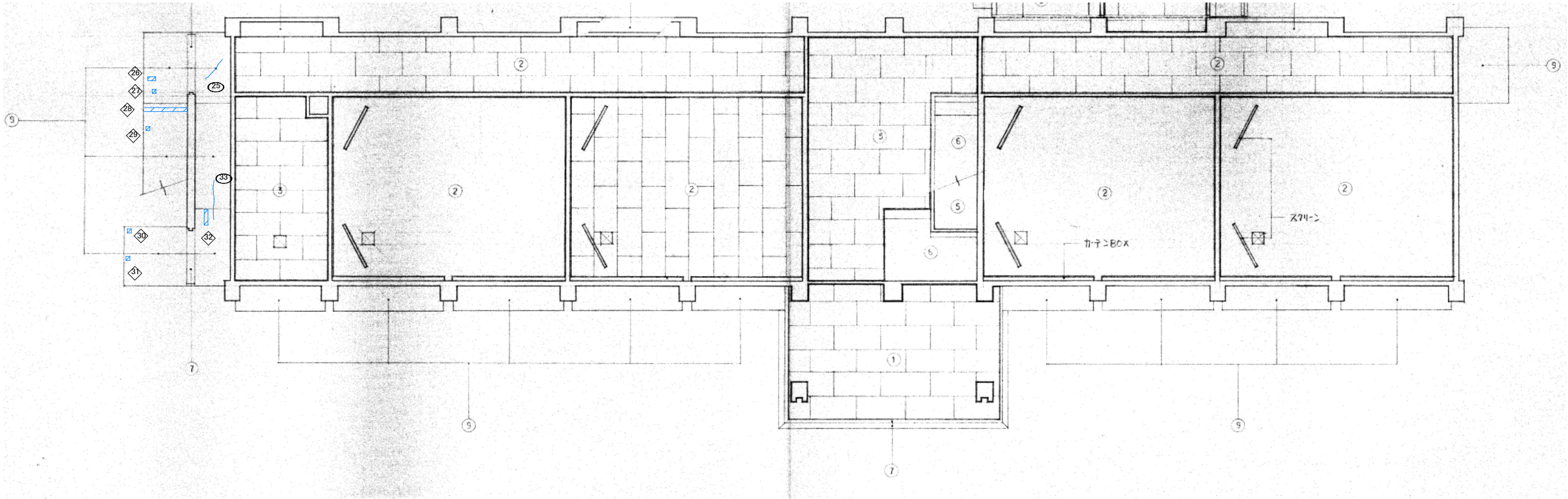
北側立面図 1:100



コンテナ室 北面

凡例		補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法		□	▨
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法		◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)		○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)		△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)		▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm		◎	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超		○	—

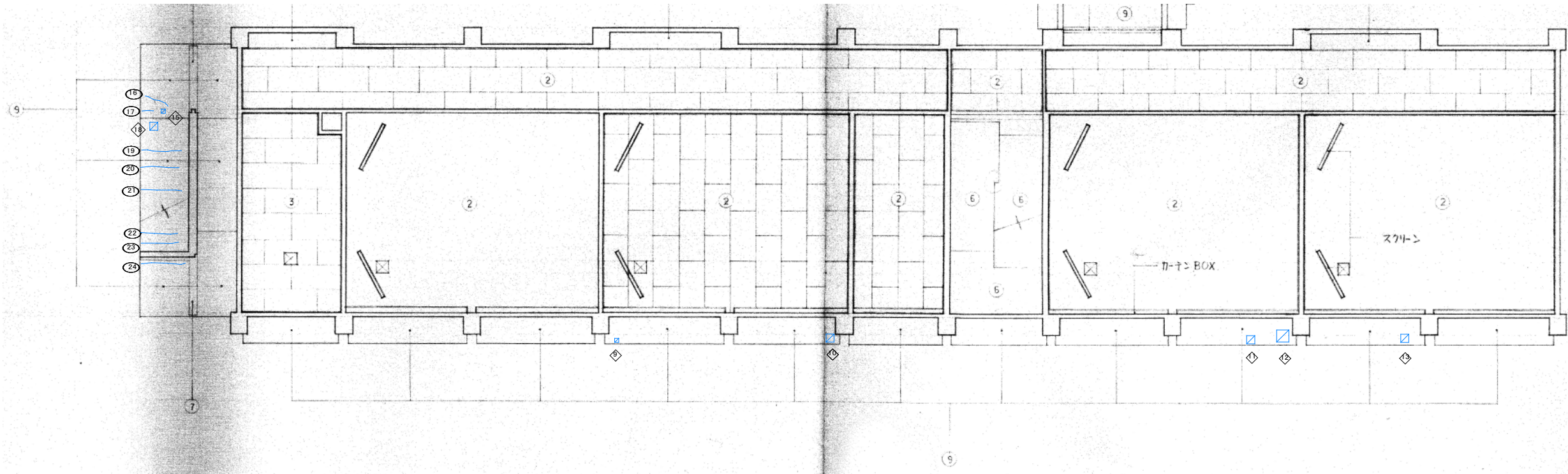
注) ▲:見え隠れ部の位置を示す



2階バルコニー見上図

凡例			
	補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	▨
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)	△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	◎	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	—

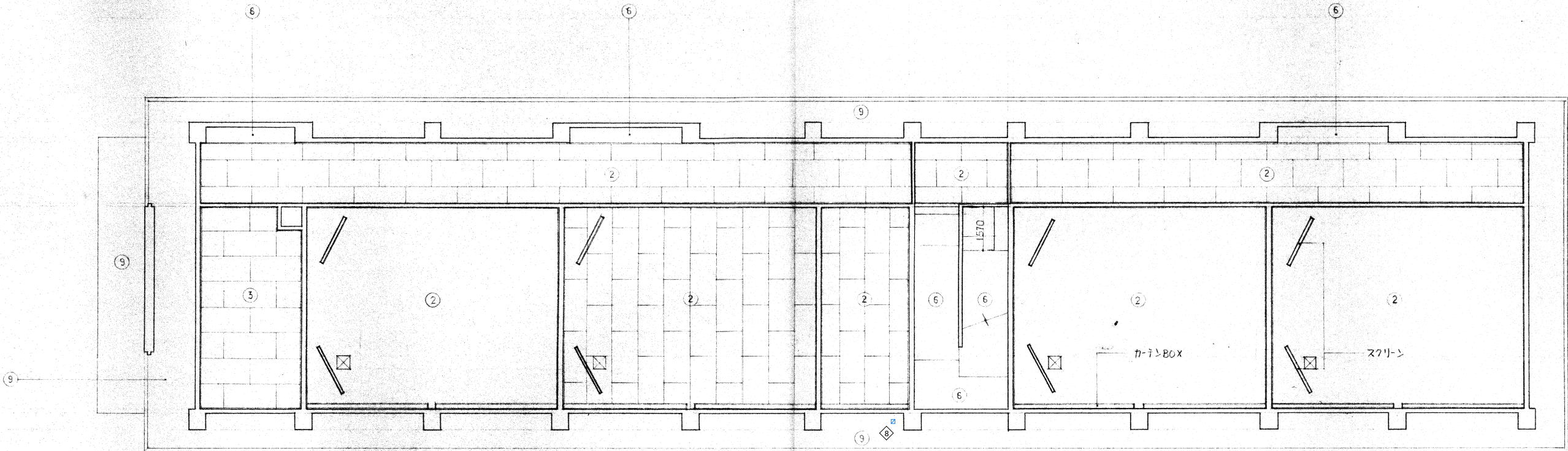
注) ▲:見え隠れ部の位置を示す

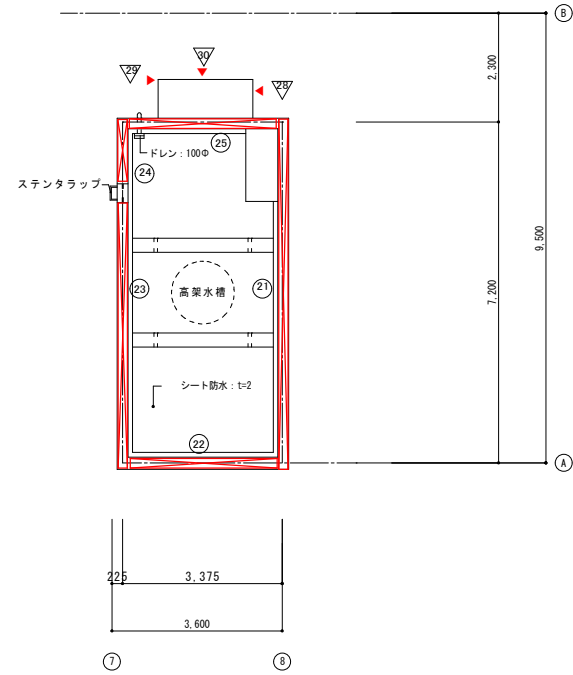


3階バルコニー見上図

凡例		補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法		□	▨
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法		◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)		○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)		△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)		▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm		◎	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超		○	—

注) ▲:見え隠れ部の位置を示す

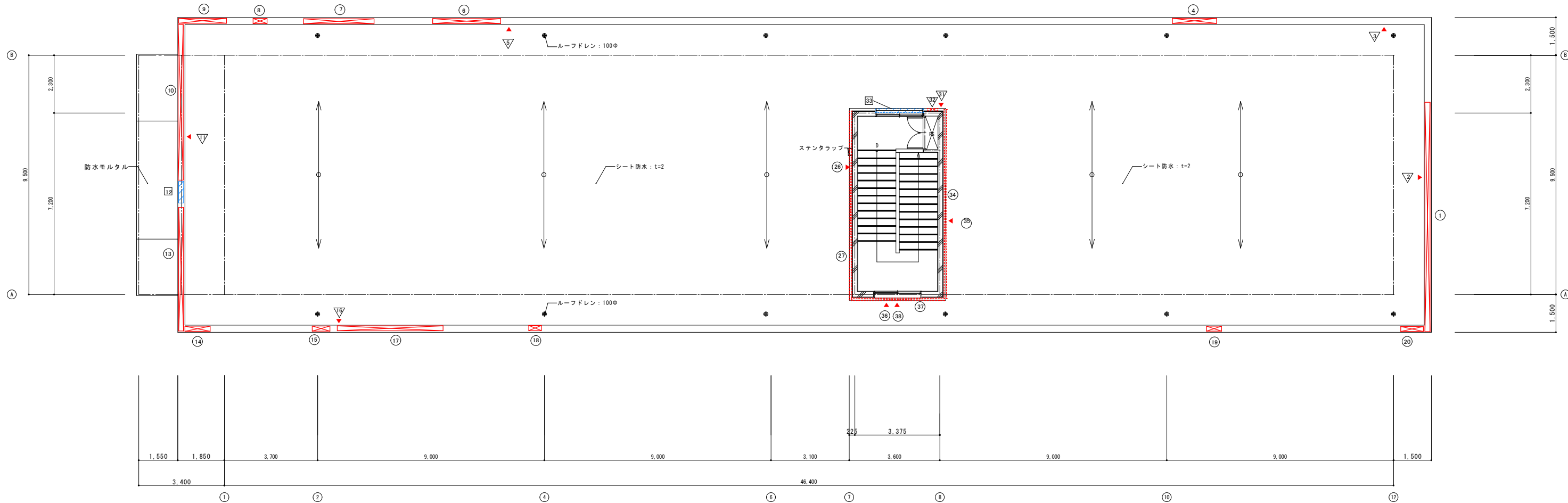




凡例

	補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	斜線
ロ	鉄筋爆裂部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	斜線
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m(一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m(指定部)	△	斜線
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/m(狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	斜線
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	◇	斜線

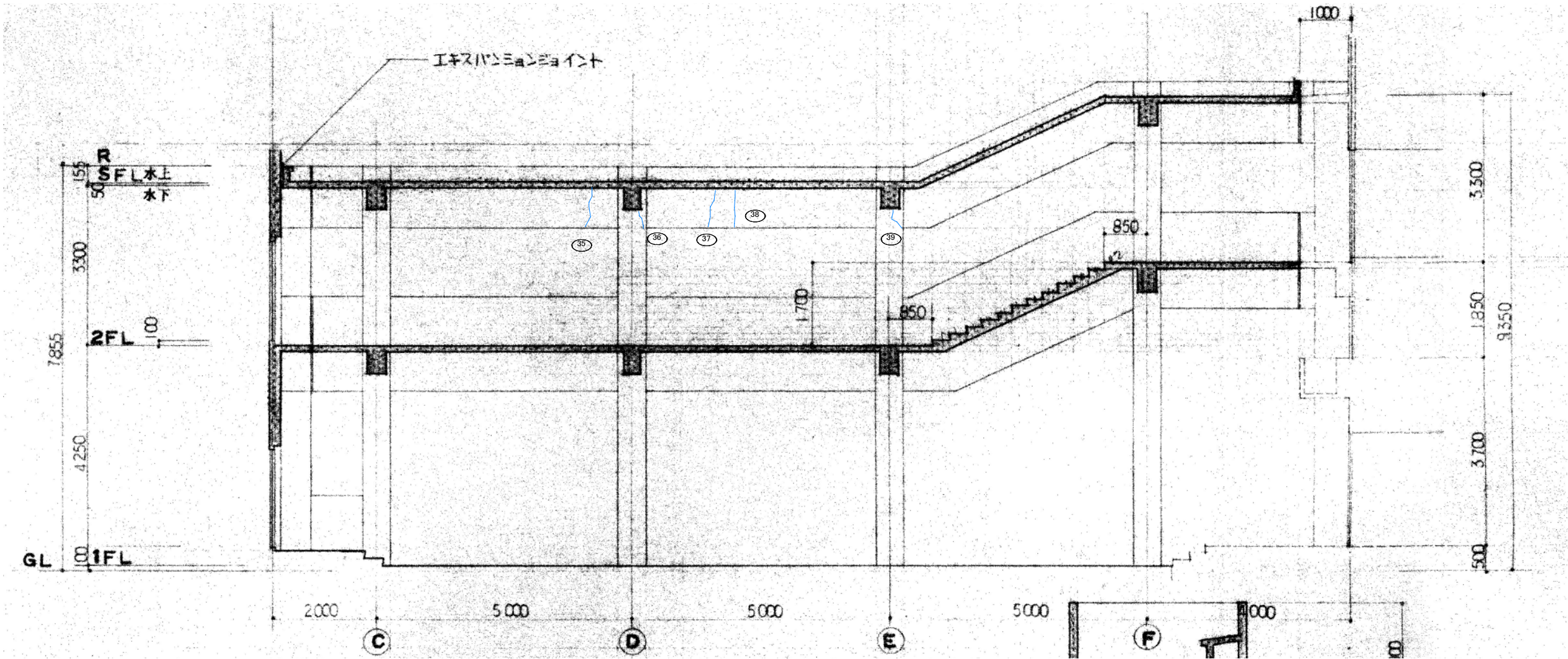
注) ▲: 見え隠れ部の位置を示す



既存 屋根伏図

凡例		補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法		□	▨
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法		◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)		○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)		△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)		▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm		○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超		○	—

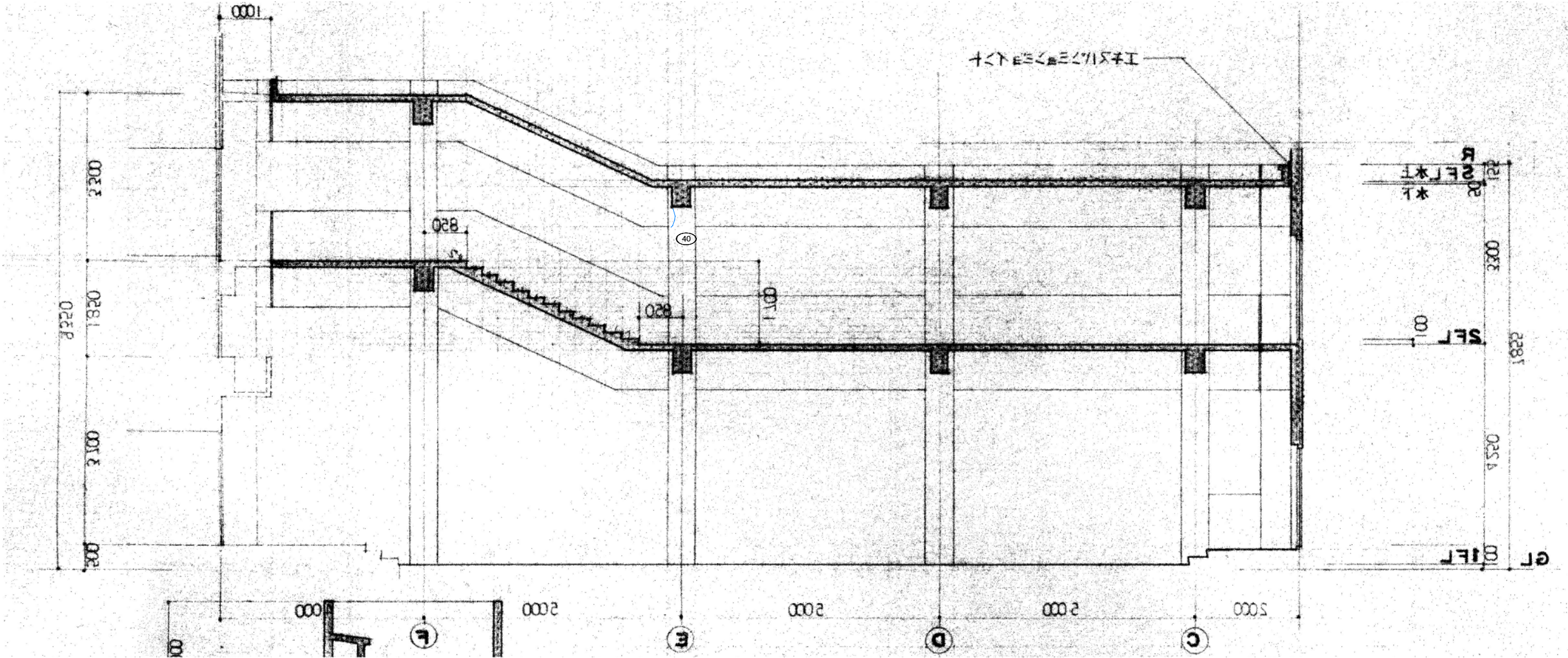
注) ▲:見え隠れ部の位置を示す



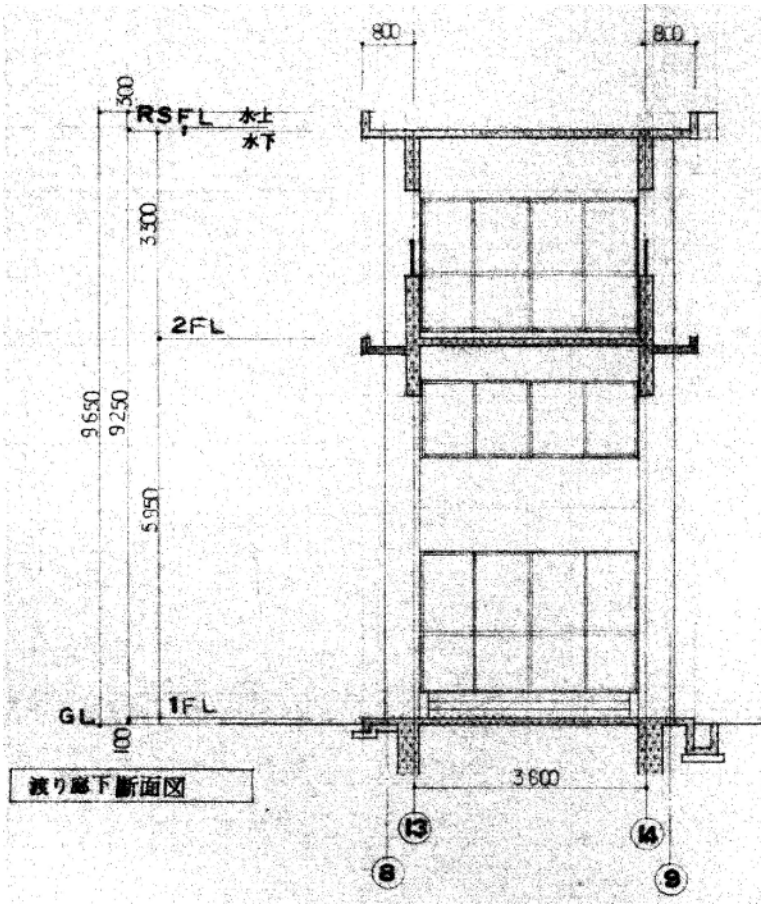
渡り廊下断面図 (1)

凡例			
補修工法名		番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	▨
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)	△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	—

注) ▲: 見え隠れ部の位置を示す

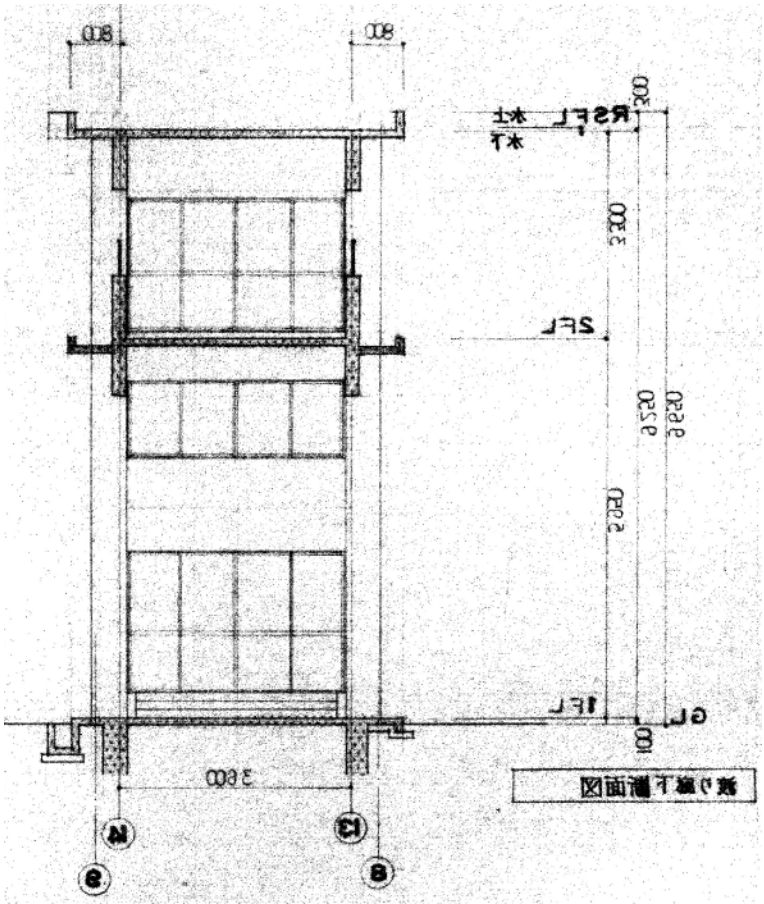


渡り廊下断面図(2)



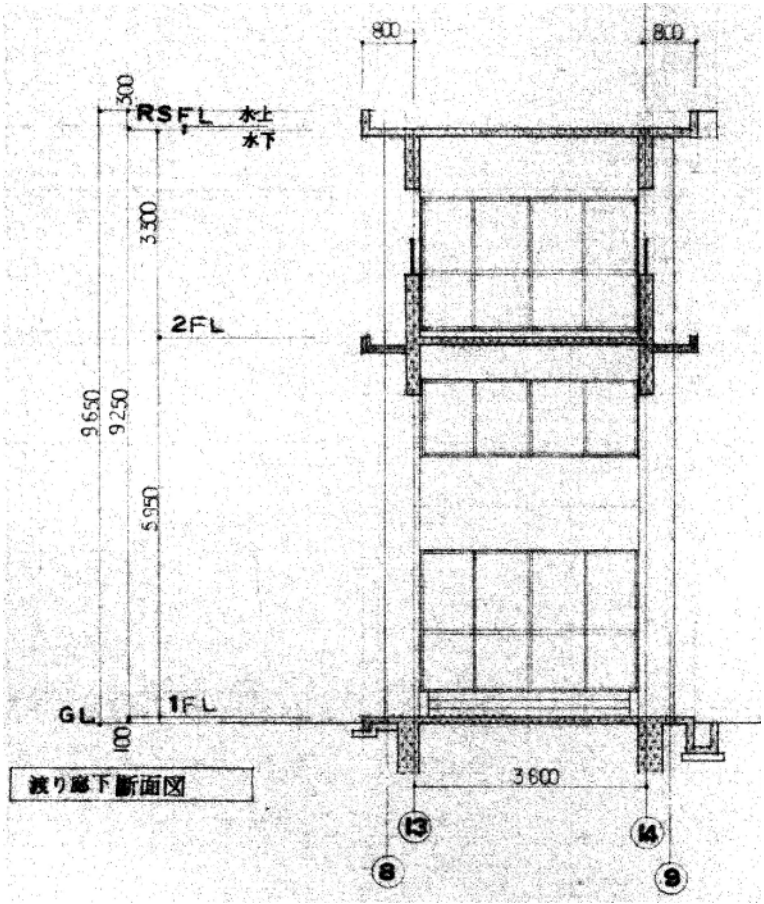
渡り廊下

E通り断面図 (1)



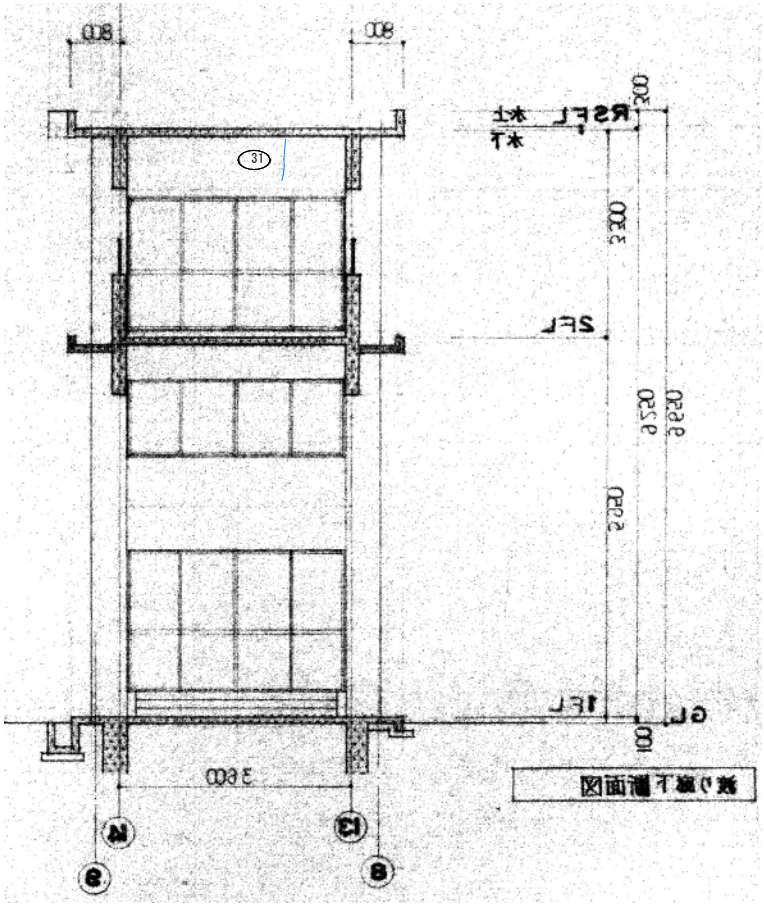
渡り廊下

E通り断面図 (2)



渡り廊下

F通り断面図 (1)



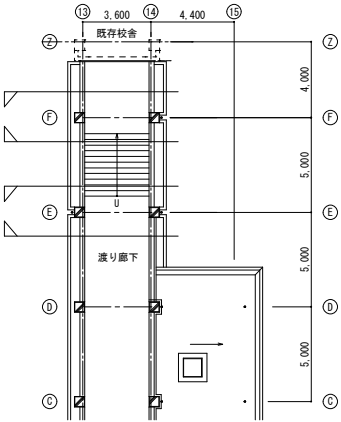
渡り廊下

F通り断面図 (2)

凡例

	補修工法名	番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	斜線
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	斜線
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/m ² (一般部)	○	斜線
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/m ² (指定部)	△	斜線
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/m ² (狭幅部)	▽	斜線
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	斜線
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	斜線

注) ▲: 見え隠れ部の位置を示す



補修工法名		番号	マーク
イ	欠損部ポリマーセメントモルタル充填工法	□	▨
ロ	鉄筋腐蝕部ポリマーセメントモルタル充填工法	◇	
ハ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡(一般部)	○	
ニ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡(指定部)	△	⊠
ホ	アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法5本/㎡(狭幅部)	▽	
ヘ	自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2~1.0mm	○	
ト	Uカットシーリング材充填工法 1.0mm超	○	—

注) ▲: 見え隠れ部の位置を示す

